

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 4 月 26 日 (2007.4.26)

【公開番号】特開 2005-269200 (P2005-269200A)
 【公開日】平成 17 年 9 月 29 日 (2005.9.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-038
 【出願番号】特願 2004-78329 (P2004-78329)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/46 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/60 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/46 Z

G 0 6 T 1/00 5 1 0

H 0 4 N 1/40 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 3 月 12 日 (2007.3.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

入力色値を、定義された色空間の色再現範囲内の色値に変換する第 1 変換手段と、
前記第 1 変換手段により変換された、前記定義された色空間の色再現範囲内の色値を、
第 1 デバイスの色再現範囲内の色値に変換する第 2 変換手段と、
前記第 2 変換手段により変換された、前記第 1 デバイスの色再現範囲内の色値を、第 2
デバイスの色再現範囲内の色値に変換する第 3 変換手段と、を有し、
前記第 2 変換手段は、前記定義された色空間における色値と、該定義された色空間にお
ける色値に基づき前記第 1 デバイスにより出力される色の測色値との第 1 対応関係に基づ
く変換を行い、
前記第 3 変換手段は、前記第 2 デバイスのデバイス色値と、該デバイス色値に基づき該
第 2 デバイスにより出力される色の測色値との第 2 対応関係に基づく変換を行うことを特
徴とする色処理装置。

【請求項 2】

前記第 1 対応関係における測色値は、前記定義された色空間における色値に基づき前記
第 1 デバイスにより色を出力させ、該出力された色を測色することにより得られることを
特徴とする請求項 1 記載の色処理装置。

【請求項 3】

前記第 1 対応関係は、前記第 1 デバイスのプロファイルから取得することを特徴とする
請求項 1 記載の色処理装置。

【請求項 4】

前記第 3 変換手段は、さらに、前記第 2 デバイスの色再現範囲内に変換された色値を、
前記第 2 デバイスのデバイス色値に変換することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか
1 項に記載の色処理装置。

【請求項 5】

前記第 2 変換手段は、前記第 1 対応関係における測色値に対して白色点黒色点補正を行

うことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の色処理装置。

【請求項 6】

前記第 3 変換手段は、前記第 2 対応関係における測色値に対して白色点黒色点補正を行うことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の色処理装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の色処理装置をコンピュータを用いて実現するために、記録媒体にコンピュータが読み取り可能に記録されたプログラム。

【請求項 8】

入力色値を、定義された色空間の色再現範囲内の色値に変換する第 1 変換工程と、
前記第 1 変換工程において変換された、前記定義された色空間の色再現範囲内の色値を、第 1 デバイスの色再現範囲内の色値に変換する第 2 変換工程と、
前記第 2 変換工程において変換された、前記第 1 デバイスの色再現範囲内の色値を、第 2 デバイスの色再現範囲内の色値に変換する第 3 変換工程と、を有し、
前記第 2 変換工程は、前記定義された色空間における色値と、該定義された色空間における色値に基づき前記第 1 デバイスにより出力される色の測色値との第 1 対応関係に基づく変換を行い、
前記第 3 変換工程は、前記第 2 デバイスのデバイス色値と、該デバイス色値に基づき該第 2 デバイスにより出力される色の測色値との第 2 対応関係に基づく変換を行うことを特徴とする色処理方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】色処理装置、色処理方法およびプログラム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

本発明は、所望の色再現を実現した第 1 デバイスと同様な色再現を第 2 デバイスにおいても実現できるようにすることを目的とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

上記の目的を達成するために本発明に係る画像処理装置は以下のような構成を備える。即ち、

入力色値を、定義された色空間の色再現範囲内の色値に変換する第 1 変換手段と、
前記第 1 変換手段により変換された、前記定義された色空間の色再現範囲内の色値を、第 1 デバイスの色再現範囲内の色値に変換する第 2 変換手段と、
前記第 2 変換手段により変換された、前記第 1 デバイスの色再現範囲内の色値を、第 2 デバイスの色再現範囲内の色値に変換する第 3 変換手段と、を有し、
前記第 2 変換手段は、前記定義された色空間における色値と、該定義された色空間における色値に基づき前記第 1 デバイスにより出力される色の測色値との第 1 対応関係に基づく変換を行い、
前記第 3 変換手段は、前記第 2 デバイスのデバイス色値と、該デバイス色値に基づき該

第 2 デバイスにより出力される色の測色値との第 2 対応関係に基づく変換を行うことを特徴とする。

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 2

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 1 2 】

本発明は、定義された色空間で示される色に基づき前記第 1 のデバイスにより出力された色を測色することにより得られた定義された色空間で示される色値と測色値との対応関係を用いることにより、所望の色再現を実現した第 1 デバイスと同様な色再現を第 2 デバイスにおいても実現できるようにすることができる。